



生活安心課 課長

下 友子

経歴

島田市と旧川根町合併後 市民課(現国保年金課) 4年

国保年金課 1年

市民安心課 1年7ヶ月

保育支援課 2年5ヶ月

危機管理課 2年

広報情報課 1年

市民課 3年

生活安心課 1年

島田市のどんなところが好きですか？

程よく田舎であるところです。私は生まれも育ちも旧川根町で、旧島田市と合併する際は生まれ育った場所が無くなってしまふようで寂しさを覚えました。山間部の旧川根町と街の旧島田市が一緒になることで、山・川・街のある魅力的な市になる、いいじゃん！と思うようになりました。

また、広報情報課に配属になった時には「島田市緑茶化計画」を掲げて島田市の良さを市外の方にPRしてきましたが、お茶や観光資源、人柄など、考えれば考えるほど、他市にはない素敵なお茶や観光資源があることに気づかされました。

私にとって、この程よく田舎であるところが心地よく、島田市の魅力だと思っています。

島田市で働きたいと思った理由を教えてください

やはり、「郷土愛」が一番の理由です。私も一度島田市を離れていた期間がありますが、良く言う、離れてみてわかる地元の良さと、微力かもしれないけどそこに住んでいる人の役に立ちたいという思いからです。

島田市へ入庁して良かったと感じることは何ですか？

市役所の仕事は、地元を知り、島田市について考え、どうすれば良くなるだろうと考え実践することです。

もし、これが島田市以外の役所であったら、やはりその思いは少し劣っていたかもしれません。メディアで島田市が取り上げられたり、住民の方が「島田市が好き」と思っている声や思いを聞いた時、それが一番入庁して良かったと思う瞬間です。

男性管理職が多い中で、管理職に昇格したときのお気持ちを教えてください

私が課長補佐になったのは、危機管理課在席時でしたが、本当に驚きましたし、こんな私に務まるのだろうか、という不安しかなかったのを覚えています。

危機管理部門は一般的に男性職員が多い職場で、他市との会議に出席しても男性ばかりでしたが、何故か「私だけ女性だ」と思うことはありませんでした。

自分の性格もあるのかもしれませんが、性別はあまり関係なく要は人間性なのだと、全ての事に対して思っています。とは言え、体力的だったり思考的なところで、性別による得意不得意は必ずあると思いますので、お互いに補い合う気持ちがあれば、逆に性別がプラスになるかもしれません。

また、管理職とは言いますが、私も日々課員や周りの方に助けをいただいで仕事をしています。職員同士が思いやる心は、役職関係なくいつまでも持ち続けなければいけないと強く思っています。

どんな職場の環境、雰囲気働きやすいと思いますか

市役所に限ったことではありませんが、新型コロナウイルス感染症はデジタル化の急速な進展に影響を与えました。

これから市役所の仕事もデジタル化が進み、職員も市民の方と直接対応することなく業務が進んでいくことになるかもしれません。

でも、そんな中だからこそ、職場の中では職員同士が声を掛け合う、お互いを思いやる、素直に相談できる雰囲気が必要だと思います。

また、節度をもった中で自分の意見や思った事を言い合える職場にしたいとも思いますが、それはお互いの仕事を理解し尊重し合わないと成立しませんから、そんな職場になるように、管理職が職場の環境づくりに配慮する必要があると思っています。

就活生へメッセージをお願いします

職業を選ぶ時、まず自分がやりたいことを選択すると思いますが、良くも悪くもやってみなければわからない事が沢山あります。

市役所の仕事は本当に色々で、当然ですが課が変われば全く違う仕事になります。同じ課の中でも、係や担当が変われば、内容がガラリと変わる事もあります。

大変なことも勿論多くありますが、ジャンルの違う仕事を経験できる、それが市役所の仕事の楽しさでもあると思います。

自分がやりたい事の中に、「そこに住んでいる人のために何かしたい」というものがあるのであれば、是非市役所職員を目指して欲しいと思います。